

# 《門司の環境を考える会》 辺野古埋め立て採石ニュース



2015年5月18日  
《No.2》  
連絡先  
080-1730-8895  
(八記久美子)

「碎石場は公道から見えませんよ」「見えなくてもいいから見たいんです」と  
瀬戸内海的环境団体・生物学者・沖縄の新聞記者が門司に

ダメ元の  
電話で

## 直球ど真ん中の訪問に

### ■まさに「行動が未来を開く」だね

某日、環瀬戸内海会議の共同代表の阿部悦子さんから「碎石予定地と言われている碎石場を見たいんですが」と、電話がありました。「公道から中は見えませんよ」と言うと、「見えなくてもいいから見たいんです」「それなら」と、5月15日(金)に門司に来ていただく事になりました。そして、あっという間に、生物学者の向井宏さんご夫妻、沖縄の新聞記者、そして門司の波田市議も参加することになりました。

当日8人が小倉駅に集合し、さあ出発と言う時、波田市議が「(訪問先の代表者の方を)知っているの、とりあえず連絡を」と、電話をしてくれました。そして、代表者の方が私たちと会ってくれることに…。



突然の訪問にもかかわらず、代表者の方は丁寧に対応してくれました。

### ■訪問感想…一ノ瀬和世さん

当日は少し緊張しました。代表者の丁寧な対応や、先方の車2台で碎石場にも案内していただき、日頃近寄れない現場での説明は、参考になりました。辺野古への土砂提供については直接には返答はありませんでした。環瀬戸内海会議の阿部悦子さんの熱心な質問、懇談会での活動の紹介は勉強になりました。沖縄の青年記者の熱心な取材ぶりにも感心しました。



案内していただいた田野浦碎石場でパチリ



沖縄防衛局の地図に示された、門司の三カ所と防府市・周南市のいずれにも碎石場を持つ企業を今回訪問しましたが、代表者の方は、辺野古への碎石(岩ズリ)提供の話は「直接はない」と言われています。また、入手した資料の中にも、企業名を記したものはありませんので、文中には、企業名を出していません。また、今回見学させていただいた3カ所の碎石場の内、防衛局の資料にあるのは1カ所だけだったと思います。

### ■訪問感想…阿部悦子さん(環瀬戸内海会議 共同代表)

環瀬戸内海会議は、2013年春沖縄県に、沖縄防衛局が届けた「辺野古埋め立てに用いる土砂等の採取場所および採取量を記載した図書」の中に、瀬戸内海の2箇所が大きく掲載されたことから、環境省や防衛省、沖縄県知事などに、その撤回を求めて申し入れをおこなってきました。「辺野古の埋め立ては、搬入される辺野古のみならず、搬出する瀬戸内海的环境をも破壊する」「瀬戸内に戦争のために使う土砂はない」という趣旨の申し入れです。

門司の現場では、採取の規模の大きさに驚くとともに、代表者は「この問題で正式な接触は行っていない」としながら、一方で、「従業員を養わなければならない」「お客さまはどなたも断らない」と話されていました。今回いただいたご縁を活かして、さらなるネットワークを広げていきたいと思えます。



よその碎石場跡地で記念写真。  
記者・阿部・八記